

高校入試対策 中学社会

歴史分野

学習プリント

中学校学習指導要領（平成 29 年告示）準拠

— 解答入り版 —

【 】の中が答えです。赤い下じきを当てると消えるので、くり返し確認できます。

「発展」のついた内容は、標準的な公立高校入試をこえるやや高度な内容です。

難関私立・上位校をめざす人だけ取り組めば十分です。

目次

■ A 歴史との対話

第1章 年代の表し方と時代区分

■ B 古代までの日本

第2章 世界の古代文明と宗教のおこり

第3章 日本の成り立ち（旧石器・縄文・弥生）

第4章 古墳時代とヤマト政権

第5章 飛鳥時代と律令国家への歩み

第6章 奈良時代

第7章 平安時代

■ C 中世の日本

第8章 鎌倉幕府の成立と元寇

第9章 室町幕府と東アジア

第10章 民衆の成長と室町の文化

■ D 近世の日本

第11章 ヨーロッパ人の来航と全国統一

第12章 江戸幕府の成立と鎖国

第13章 産業の発達と町人の文化

第14章 幕府政治の改革と行きづまり

■ E 近代の日本と世界

第15章 欧米の近代化とアジア進出

第16章 開国と江戸幕府の滅亡

第17章 明治維新と近代国家の形成

第18章 立憲政治の始まりと日清・日露戦争

第19章 近代産業の発展と近代の文化

第20章 第一次世界大戦と大正デモクラシー

第21章 世界恐慌と第二次世界大戦

■ F 現代の日本と世界

第22章 戦後の民主化と冷戦下の日本

第23章 高度経済成長とグローバル化する世界

■ 巻末資料

巻末資料① 年表（原始～中世）

巻末資料② 年表（近世～現代）

巻末資料③ 文化史・土地制度のまとめ

巻末資料④ 歴史 用語チェック 100

◆この冊子の使い方

- ・【 】の中が答えです。赤い下じきを当てると消えるので、くり返し確認できます。
- ・「書きこみ用」は同じ内容が空らんになっています。答えを書きこんで練習しましょう。
- ・各章の終わりの「◆確認」は、答えを見ないで説明できるかをためすための問いです。
- ・できごとは「原因→内容→結果」の三点セットで覚えると、記述問題に強くなります。
- ・巻末の年表を使って、章が終わるたびに時代の位置を確かめましょう。
- ・「発展」のマークがついた文は、まずマークのない部分を確実にしてから取り組めば十分です。

第1章 年代の表し方と時代区分

日本の時代区分

原 始			古 代						
旧石器 ～約1万年前	縄文 ～前4世紀	弥生 ～3世紀	古墳 ～6世紀	飛鳥 ～710	奈良 ～794	平安 ～1185			
中 世		近 世		近 代		現 代			
鎌倉 ～1333	室町 ～1573	安土桃山 ～1603	江戸 ～1867	明治 1868～1912	大正 ～1926	昭和(戦前) 1926～45	昭和(戦後) 1945～89	平成 ～2019	令和 2019～

※年代は目安。「近代」は明治維新から、「現代」は第二次世界大戦の終わりからと考える。

■ 1 年代の表し方

- ・【西暦】…イエス＝キリストが生まれたと考えられた年を紀元1年とする数え方。
- ・【世紀】…西暦を100年ごとに区切ったもの。2001年～2100年が【21】世紀。

※「〇〇年は何世紀か」→年の上2けたに【1】をたす（下2けたが00の年をのぞく）。例）1867年→18+1=【19】世紀。

- ・【元号（年号）】…日本独自の年の表し方。大化から始まる。現在は天皇一代につき一つの【一世一元】。

■ 2 時代区分

- ・政治の中心地による区分…飛鳥・奈良・平安・鎌倉・室町・【江戸】。
- ・元号による区分…明治・大正・昭和・平成・【令和】。
- ・社会のしくみによる大きな区分…原始・古代・【中世】・近世・近代・【現代】。

◆それぞれの区分の目安

- ・【原始】…国家がまだできていない時代（旧石器・縄文・弥生）。
- ・【古代】…天皇や貴族が政治の中心（古墳～平安）。
- ・【中世】…武士が政治の中心となる（鎌倉・室町）。
- ・【近世】…全国統一が実現し、幕府が全国を支配（安土桃山・江戸）。
- ・【近代】…明治維新から第二次世界大戦の終わりまで。
- ・【現代】…1945年から現在まで。

■ 3 歴史の調べ方

- ・文字で書かれた資料を【文献】資料、遺跡や遺物を【考古】資料という。
- ・資料は書いた人の立場によって見方がかたよることがあるので、複数の資料を比べて【検証】することが大切。

◆確認

- ☐ 1889年は何世紀か、計算のしかたとともに答えられるか。
- ☐ 「古代・中世・近世」の区分の基準を説明できるか。